【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成28年2月12日(2016.2.12)

【公開番号】特開2015-81144(P2015-81144A)
【公開日】平成27年4月27日(2015.4.27)
【年通号数】公開・登録公報2015-028
【出願番号】特願2013-233468(P2013-233468)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　81/38　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　75/04　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　1/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　81/38　Ｅ
Ｂ６５Ｄ　75/04
Ｂ６５Ｄ　1/26　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成27年11月25日(2015.11.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
開口部が形成された樹脂製のインナーカップと、該インナーカップの胴部に被装するスリーブとを備えた断熱カップであって、
前記インナーカップの胴部外周にエンボス部を形成し、該エンボス部を、凸状菱形部を構成単位面とする複数個の同一形状の凸状菱形部を連続することにより前記インナーカップ胴部外周に隆起したパターンとして形成し、
前記スリーブを前記インナーカップに被装した状態で前記インナーカップの胴部外周と前記スリーブの胴部内周との間に空隙部を形成したことを特徴とする断熱カップ。
【請求項２】
開口部が形成された樹脂製のインナーカップと、該インナーカップの胴部に被装するスリーブとを備えた断熱カップであって、
前記スリーブは前記インナーカップに板紙層を巻装することにより形成され、
前記スリーブの下端部を内側に折り込み接着剤を配して一体化させて前記スリーブに折込み部を形成し、
該折込み部の内周に前記インナーカップの側面下端外周を当接係合させ、
前記折込み部の内周と前記インナーカップの側面下端外周が当接係合した状態で前記折込み部によりカップの糸尻が形成され、
前記スリーブを前記インナーカップに被装した状態で前記インナーカップの胴部外周と前記スリーブの胴部内周との間に空隙部を形成したことを特徴とする断熱カップ。
【請求項３】
前記スリーブは前記インナーカップに板紙層を巻装することにより形成され、
前記スリーブの下端部を内側に折り込み接着剤を配して一体化させて前記スリーブに折込み部を形成し、
該折込み部の内周に前記インナーカップの側面下端外周を当接係合させ、
前記折込み部の内周と前記インナーカップの側面下端外周が当接係合した状態で前記折込

み部によりカップの糸尻が形成されていることを特徴とする請求項１に記載の断熱カップ。
【請求項４】
さらに、外装シュリンクフィルムによりカップ全体が被着されていることを特徴とする請求項１ないし３いずれか一項に記載の断熱カップ。
【請求項５】
前記凸状菱形部が、中央に頂部を備えていることを特徴とする請求項１，３，４いずれか一項に記載の断熱カップ。
【請求項６】
前記インナーカップが、単層ないし２層以上の熱可塑性樹脂シートにより成形されていることを特徴とする請求項１ないし５いずれか一項に記載の断熱カップ。
【請求項７】
前記インナーカップが、熱可塑性樹脂シートにより成形され、最内層、中間層、最外層を持った３層構造に成形されていることを特徴とする請求項６に記載の断熱カップ。
【請求項８】
前記インナーカップが、ポリプロピレンとポリエチレンをブレンドした熱可塑性樹脂シートにより成形され、前記インナーカップが、開口部を備えるとともに該開口部周縁にフランジ部が形成されていることを特徴とする請求項１乃至７いずれか一項に記載の断熱カップ。
【請求項９】
前記凸状菱形部の中央に頂部が形成され、手で断熱カップの胴部を持つ際に前記頂部を備えた前記インナーカップの当該胴部外周と前記スリーブが点接触することを特徴とする請求項１乃至８いずれか一項に記載の断熱カップ。
【請求項１０】
前記インナーカップの外周上縁部と前記スリーブの内周上縁部は接着されていることを特徴とする請求項１乃至９いずれか一項に記載の断熱カップ。
【請求項１１】
前記インナーカップの外側には、前記スリーブが被装され、前記スリーブは板紙層を備え、該板紙層が外筒として前記インナーカップに巻装して形成されていることを特徴とする請求項１乃至１０いずれか一項に記載の断熱カップ。
【請求項１２】
前記インナーカップの前記フランジ部に蓋体がヒートシールされて前記インナーカップの前記開口部が密閉され、かつ、断熱カップが透明な外装シュリンクフィルムにより被着されていることを特徴とする請求項８に記載の断熱カップ。